

大池公園の協働による再整備について

～持続可能な公園管理組織を考える～



矢吹町 馬場 利喜

1. はじめに

矢吹町は福島県の県南地方に位置しており、人口は 17,022 人（令和 5 年 12 月末時点）、面積は 60.40 km²で、古くは奥州街道の宿場町として栄えてきた。また、旧農林省発行の戦後開拓史によると、当町は青森県十和田市、宮崎県川南町と並び、戦後の大規模な国営開拓事業が成功した日本三大開拓地として掲載されている。先人たちの開拓者精神により整備された豊かな田園地帯・自然風景が当町の特徴であり、自然空間を活かした大池公園は当町を代表する都市公園・観光施設となっている。

しかしながら、大池公園には管理運営に関する課題や、利用者数の伸び悩み、リピーター確保といった問題があるため、今回のレポートでは諸課題への対応と、新規利用者、リピーターの拡大に向けた提案を検討していく。

2. 大池公園の現状と課題、整備計画

(1) 現状

公園として整備される以前の大池は、国営白河矢吹開拓建設事業（昭和 16～39 年）の主たるかんがい用水源として整備された羽鳥ダムからの用水を引き入れ、田畑を潤す農業のための水源貯水池であり、当町の農地開拓のシンボリックな存在であった。

その後、昭和 59 年から公園整備が始まり、「水・花・緑が香る公園」をテーマに、池と町木のアカマツの生い茂る自然空間を活かした総合公園として平成 16 年度に完成し、町民、近隣市町村の人々のやすらぎと憩いの場として利用されている。

大池公園は自然に恵まれた観光レクリエーション施設としての魅力と潜在的な価値を有しており、19.40 ha の面積を有する広い総合公園である。



図 1 大池公園マップと大池公園の自然風景（大池公園パンフレットより）

公園には景観を楽しむエリアや子どもの遊び場に加え、キャンプ場、ソフトボール場、直売所、芸術施設といった複数機能を有しており、各施設は地元行政区やシルバー人材センター等の団体がそれぞれ運営を行っている。

利用者数の傾向を見ると、キャンプ場についてはコロナ禍でのアウトドアブームにより、利用者数が大きく増加している一方、公園の利用者数についてはキャンプ場と比較して利用者数の伸び悩みがみられる。

| 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| キャンプ場利用団体数（延べ） | 288 | 308 | 1,614 | 2,368 |
| キャンプ場利用者数（人） | 1,234 | 2,100 | 5,062 | 6,043 |
| 大池公園利用者数（人） | 84,425 | 84,925 | 79,280 | 84,280 |

図2 大池公園キャンプ場及び大池公園利用者数（福島県観光客入込状況調査より）

(2) 課題

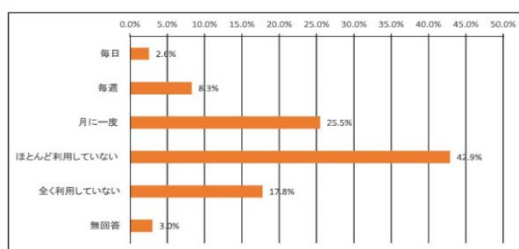
当町を代表する大池公園であるが、満16歳以上の町民3,000人を対象として令和5年1月に実施したアンケート結果によると、「ほとんど利用していない」が42.9%、「全く利用していない」が17.8%と、町民の6割以上が全く利用していないことが分かった。また、「月に一度利用する」が25.5%、「週に一度に利用する」が8.3%で、頻繁に利用する町民は1割程度しかないことが明らかになった。

一方、大池公園を多くの方に利用してもらうために必要な機能を尋ねたところ、1位は「カフェ・レストラン」が18.9%、2位は「自然環境の保全」で16.9%、3位は「散策路、ランニングコースの整備」で14.9%であった。

このことから、恵まれた自然環境を保全・活用しながら、「カフェ・レストラン」の設置や「散策路、ランニングコース」の整備といった機能が大池公園に求められていると推察する。

また、現在は地元行政区の方々に公園全体の管理を行っていただいているが、公園管理者の課題として、行政区加入者の減少と行政区役員の高齢化による担い手不足が深刻化していることや、現在の管理体制のままでは新たな事業を立ち上げる人的余裕が不足していることがあげられる。

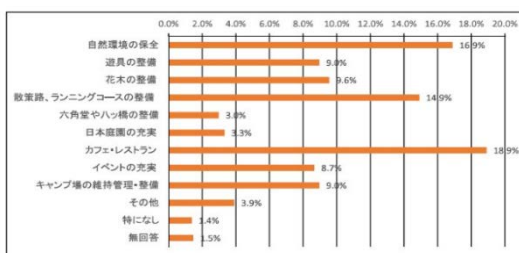
問1. 矢吹町の大池公園についてお伺いします。
③ 矢吹町の公園を、どのくらいの頻度で利用していますか
<あてはまるものに○印>
1. 毎日 2. 毎週 3. 月に一度
4. ほとんど利用していない 5. 全く利用していない



「ほとんど利用していない」が42.9%で最も多く、次いで「月に一度」が25.5%、「全く利用していない」が17.8%で多くなっている。

問1. 矢吹町の大池公園についてお伺いします。
② 矢吹町の大池公園について、より多くの方に利用いただくためには何が必要だと思いますか
<あてはまるものすべてに○印>

1. 自然環境の保全 2. 遊具の整備 3. 花木の整備
4. 散策路、ランニングコースの整備 5. 六角堂やハッ橋の整備 6. 日本庭園の充実
7. カフェ・レストラン 8. イベントの充実 9. キャンプ場の維持管理・整備
10. その他 11. 特になし



「カフェ・レストラン」が18.9%で最も多く、次いで「自然環境の保全」が16.9%、「散策路、ランニングコースの整備」が14.9%で多くなっている。

図3 大池公園に関するアンケート結果
(矢吹町まちづくり総合計画の策定に関する住民アンケートより)

さらに、キャンプ場には管理人が常駐しておらず、利用料は無料ということもあってキャンプ場の利用者数が増加していると思われるが、一部のマナーの悪い利用者による騒音問題やごみ・炭の不始末といった報告が寄せられている。そのため、他の利用者や公園利用者に加え、周辺住民にも迷惑をかけている状況にあることから、キャンプ場の運営体制も改善する必要があると考えられる。

(3) 整備計画

当町では、町内外の公園利用者へのアンケート調査や、ワークショップによるニーズ調査等を行い、「大池公園整備計画」を平成30年に策定している。当計画の中では、大池公園は様々な施設が整備されているが統一感が欠けていることを課題の一つに挙げている。そのため、利用者ニーズの変化への対応や新たな利用者の掘り起しによる公園のリニューアルを図り、統一性を持たせるための方針として「大池八景」というコンセプトを設定した。

このコンセプトは、大池公園の魅力を具現化する8か所の景観ポイントを定め、公園の使い手・造り手・守り手の三者がそれぞれの立場を超えてこれらの景観を守り、磨きをかける活動に取り組むことで、時間をかけて八景を熟成させるというものである。また、当時のニーズ調査では、自然環境の保全や昔の自然環境の再生といった意見が多く寄せられており、自然環境を守ることがやはり期待されている。

なお、大池公園整備計画に基づく公園整備については、令和元年東日本台風や令和3年福島県沖地震の災害対応に加え、新型コロナの影響等があり計画どおりに進められていない状況にあるため、スケジュールや手法を見直す必要があると考える。

3. 課題解決の方向性と現在の取り組み

(1) 課題解決の方向性

大池公園に関する住民アンケート結果や、大池公園整備計画の策定経過から、自然環境の保全を望む割合が相当高いことが明らかになっている。

また、現在の公園管理者である地元行政区の区長へ、カフェ等の設置により、観光資源の磨き上げを行うことについて意見交換をしたところ、下記の点について伺った。

| 大池八景 | | 魅力のポイント |
|------|-----------------|---|
| 一景 | 花と水面に映える那須連山の景 | ・春、さくら堤の歩道から大池を望むと頭上に桜の花々、対岸に茶臼岳など那須連峰の景色が楽しめる。 ・夏、彼岸花が水辺に絨毯のように咲き、松の緑に映える景色が楽しめる。 |
| 二景 | 子ども遊びの水辺の景 | ・ちびっこ広場の森での子供たちの歓声が導水の水路の流れからも聞こえ、活気を感じる景色が楽しめる。 |
| 三景 | トンボ池の自然とふれあいの景 | ・大池から独立した湿生生物のエリアではトンボが舞い、湿生植物の花を楽しむ人々の景色が楽しめる。 |
| 四景 | 風渡る桜の島とあゆり橋の景 | ・大池中央の中の島の桜から花吹雪が、あゆり橋に落ちてくるという花風の景色が楽しめる。 |
| 五景 | 大木の緑映える松林の景 | ・アカマツの赤い幹肌、柔らかな針葉が大きな林の景色として大池の水面に映る景色が楽しめる。 |
| 六景 | 電車からも見える八つ橋・望楼景 | ・大池の北端にシンボリックな二階建ての望楼が八つ橋と一体になって絵になる景色が楽しめる。脳を走る東北本線の電車からもその一部の景色が楽しめる。 |
| 七景 | 大賀ハスの咲く日本庭園の景 | ・大池のあゆり橋を見下ろす茶室から庭の景色が楽しめる。庭には大賀ハスが咲き古代の景色を想像させる花が楽しめる。 |
| 八景 | 開拓の水音がする水騒の景 | ・大池の曲線脈は開拓の歴史を想像させ、爽快な落水の水音の景色が楽しめる。 |



図4 大池八景(大池公園整備計画より)

- ◆例えば、カフェ等を設置することについては反対ではない。しかし、箱物を造れば良いというものではなく、それでどれだけの集約が見込めるか、また、同じ経営者（管理者）が長期間続けていけるのかが心配である。
- ◆大池公園のコンセプトは、今ある自然を大事にし、今後に活かしていくことだと考えている。四季折々の自然を楽しみに、町内外から散歩に来られる方が多くいる。そのため、自然環境の保全に重きを置き、日々維持管理や植栽を行っている。

これらを踏まえると、大池公園の豊かな自然環境・景観を将来にわたり残すことは重要項目の一つであり、「自然環境の保全と活用」が公園利用者数を増加させるためのキーワードだと考える。

また、整備計画の中で、使い手・造り手・守り手の三者の協働により公園づくりを行い、人材育成と資金や技術を含めた仕組みづくりを目指すこととしているが、当時よりも守り手（公園管理者）不足の問題が深刻化しているため、守り手不足の解消を図る手法も優先して検討する必要がある。

(2) 現在の取り組み（青空カフェ）

アンケートの結果で町民ニーズの高い「カフェ」の設置を検討するため、サウンディング調査の前段として仮設のカフェを出店する実証実験（青空カフェ）を令和5年10月から開始している。

青空カフェの実施にあたっては、町内でカフェを経営されている事業者の方に協力をいただいております。コーヒーやジュースを仮設店舗で販売



図5 「青空カフェ」の様子（矢吹町ホームページより）

して、カフェ自体や商品のニーズ調査、設置場所や時間帯、平日・休日ごとの売れ行きに関するデータを収集し、カフェの設置場所やターゲット選定を行う際の参考資料とする。設置場所については、大池公園の駐車場や大池公園にかかるあゆり大橋上など、利用者が比較的多いスポットで実施し、開催日によって設置場所をローテーションして開催している。

なお、下記の利用者数集計を見ると、12日間の営業で述べ127名の利用があり、1日当たりの利用人数が約11人という結果であった。カフェの設置が公園利用者の拡大につながるかどうか検証を重ねていく必要はあるが、現状のままでは民間事業者の新規出店を望むことはできないと考える。そのため、カフェの設置を検討するにあたっては、民間事業者の出店が望める魅力的な空間の創出が求められており、大池公園整備計画に基づく環境整備を進めることで公園の利用ニーズ向上、にぎわい創出を目指す必要がある。

大池公園青空カフェ利用者数集計 平日 土日祝日

①年代性別集計

| 2023年10月度 | | 0~10 | | 10代 | | 20代 | | 30代 | | 40代 | | 50代 | | 60代 | | 70代以上 | | 合計 |
|----------------|---------|------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|----|
| 日付 | 場所 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | |
| 2023/10/4 (水) | 管理棟前 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 17 |
| 2023/10/10 (火) | 管理棟前 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 6 |
| 2023/10/11 (水) | 稲荷神社付近 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 3 | 13 |
| 2023/10/13 (土) | 売店近く | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 14 |
| 2023/10/15 (月) | キャンプ場内 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 |
| 2023/10/18 (木) | 公園入口橋手前 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 12 |
| 2023/10/20 (土) | 公園入口橋手前 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 7 |
| 10月度合計 | 7日 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 3 | 7 | 10 | 8 | 8 | 3 | 5 | 4 | 3 | 13 | 7 | 77 |

| 11月度 | | 0~10 | | 10代 | | 20代 | | 30代 | | 40代 | | 50代 | | 60代 | | 70代以上 | | 合計 |
|----------------|---------|------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|----|
| 日付 | 場所 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | |
| 2023/11/1 (月) | 稲荷神社前空地 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 3 | 13 |
| 2023/11/8 (水) | 稲荷神社前空地 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 9 |
| 2023/11/22 (水) | 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 9 |
| 11月度合計 | 3日 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 | 2 | 1 | 2 | 6 | 0 | 3 | 2 | 6 | 31 |

| 12月度 | | 0~10 | | 10代 | | 20代 | | 30代 | | 40代 | | 50代 | | 60代 | | 70代以上 | | 合計 |
|----------------|----------|------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|----|
| 日付 | 場所 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | |
| 2023/12/8 (水) | 不明 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 3 | 13 |
| 2023/12/27 (水) | 水上ステージ付近 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 6 |
| 12月度合計 | 2日 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 4 | 19 |

図6 青空カフェ利用者数（青空カフェ利用者数集計表より）

4. 公園管理の手法

大池公園の管理については、経費節減と事務処理の効率化を図ることや、民間の自主性の発揮による弾力的・効果的な運営が期待できることなどから、平成15年6月の地方自治法の改正により創設された指定管理者制度を導入し、地元行政区に依頼していた。しかし、指定管理の事務で必要な会計管理の帳簿や報告書等の書類作成や、行政区内での業務引継ぎが相当な負担となっており、弾力的・効果的な運営や自主事業の実施には至らなかった。また、町の担当職員においても、各種申請、支払い手続きなどの指導助言といった業務負担が増大しており、指定管理者制度のメリットがほとんどない状況にあったことから、双方の負担減を図るために令和5年度より業務委託へ移行した。

しかしながら、業務委託への移行は公園の除草や遊具点検といった施設の維持管理が主な内容であり、公園管理という観点からは従来とあまり変化がないと考える。そこで、平成29年に一部改正された都市公園法により創設されたPark-PFI（公募設置管理制度）と、公園協議会制度について整理し、当町でも民間との連携を加速し、公園の資源を柔軟に使いこなすことが可能か分析したい。

(1) Park-PFI（公募設置管理制度）

Park-PFI（公募設置管理制度）とは、都市公園において飲食店、売店等の施設を運営する事業者を公募により選定する手続きで、民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上・公園利用者の利便の向上を図る制度である。

出店等を希望する民間事業者は、公園管理者が公示した指針に基づいて「公募設置等計画」を提出し、提出された公募設置等計画については、公園管理者が指針等への適合性を審査した上で、適切な事業者を選定する。事業者は計画や公園管理者との基本協定などに基づき、飲食店、売店等の公募対象公園施設と園路・広場などの特定公園施設を一体的に整備し、設

置許可期間や建蔽率規制の緩和という特例措置が適用される。

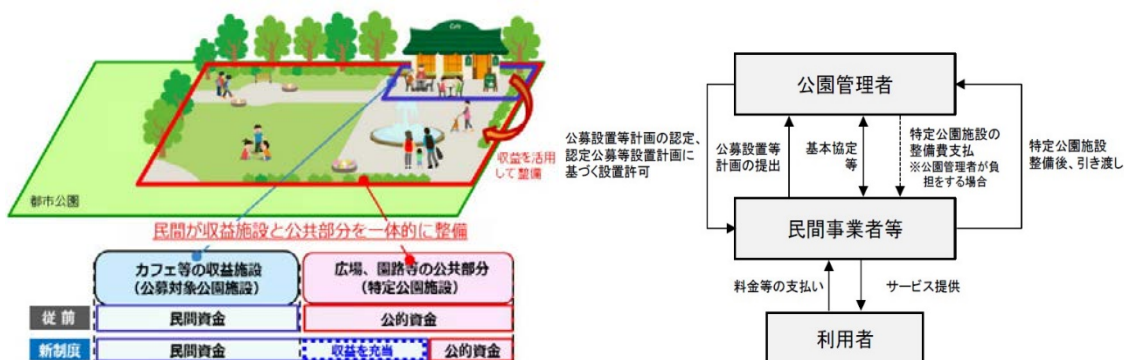


図7 Park-PFIのイメージ図と事業スキームイメージ（国土交通省資料「都市公園の質の向上に向けたPark-PFI活用ガイドライン」より）

(2) 公園の活性化に関する協議会の設置

公園管理者は、都市公園の利用者の利便の向上に必要な協議を行うための協議会を組織することができるようになった。公園管理者だけでなく多様なステークホルダーが参加し、にぎわい創出に向けたイベント開催など公園の活性化方策について協議することで、官民連携による公園運営が促進される。

また、地域関係者の参加により、持続可能な公園運営、公園を拠点としたにぎわい創出を目指し、公園の管理方法や公園利用のルール、利用調整など公園の柔軟な運用が、可能となる。

(3) 今後の方向性

「使い手・造り手・守り手の三者の協働による公園づくり」を推進し、大池公園整備計画のコンセプトである「大池八景」の実現を目指すためには、従来の指定管理や業務委託ではなく、民間団体・公園利用者などの様々な地域主体が関わる公園管理手法が必要であると考えられる。現在は、公園全体の管理を地元行政区、キャンプ場などの各機能をシルバー人材センター等の団体に依頼しているが、担い手不足の解消を図るために、管理する範囲を見直すことが選択肢の一つになると考える。例えば、公園全体ではなく遊具設置エリアや日本庭園エリアなど、小規模な民間団体等でも管理が可能な範囲に細かく分けることで、地元行政区以外の担い手確保につながる可能性があると思われる。

また、カフェの新設、キャンプ場の整備については、民間活力を積極的に活用することで、

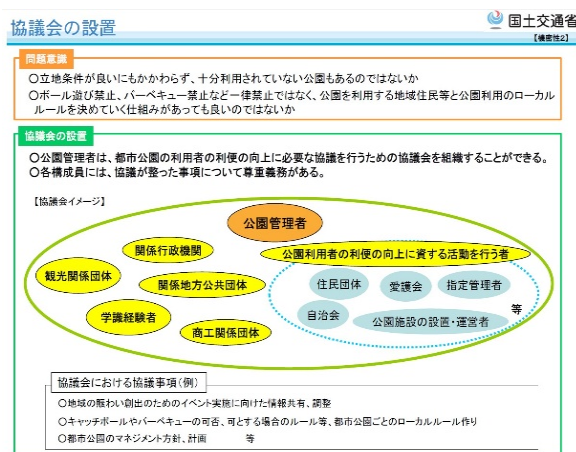


図8 公園協議会制度の概要（国土交通省資料「都市公園法改正のポイント」より）

公園内ににぎわいを創出できる可能性があるため、これらの機能についてはPark-PFIによる整備を検討し、収益施設と公共部分を一体的に管理することが効果的だと考える。

なお、第3章で述べたとおり、「自然環境の保全と活用」が公園づくりのキーワードだと考えている。そのため、カフェの新設やキャンプ場の見直しを行う場合、単に民間企業・民間団体に委託すると環境が悪化してしまう可能性があることから、環境保全の観点に工夫した公園管理も必要である。これまで述べた方向性を具体化するために、次章では先進事例の分析を行いたい。

5. 課題解決の参考事例

(1) 福岡県福岡市「コミュニティパーク事業」

「コミュニティパーク事業」は、公園管理の担い手不足や多様化する利用者ニーズへの対応、公園利用者のマナー違反等の公園における課題と、地域コミュニティの希薄化や地域活動の担い手不足・固定化等のコミュニティにおける課題を解決するための事業である。

福岡市では、行政による公園管理や、地域によっては公園愛護会という組織で公園管理を行っていたが、上記の課題を解決するため、希望する自治会を対象に、自治会や公園利用団体等で構成される運営委員会を結成することを可能とした。運営委員会は、除草や公園施設の定期点検、利用者の見回りなどの公園管理を行うことで報奨金を受け取れたり、公園でお花見や青空カフェなどの地域コミュニティ活性化に関するイベントを開催したりすることが認められている。

また、1年以上の適切な管理運営実績や地縁団体の同意、資金収支計画書の策定などの条件を満たせば、パークハウスの設置が可能となり、公園内に設置した地域の集会所でカフェが営業されるなど、地域コミュニティの好例としても注目されている。

地元自治会以外にも、近隣自治会やソフトボールやグランドゴルフ等の公園利用団体、民間企業など様々な地域主体が運営委員会に参加することが可能であり、地域の自主性を尊重した公園づくりは当町でも参考になると考える。

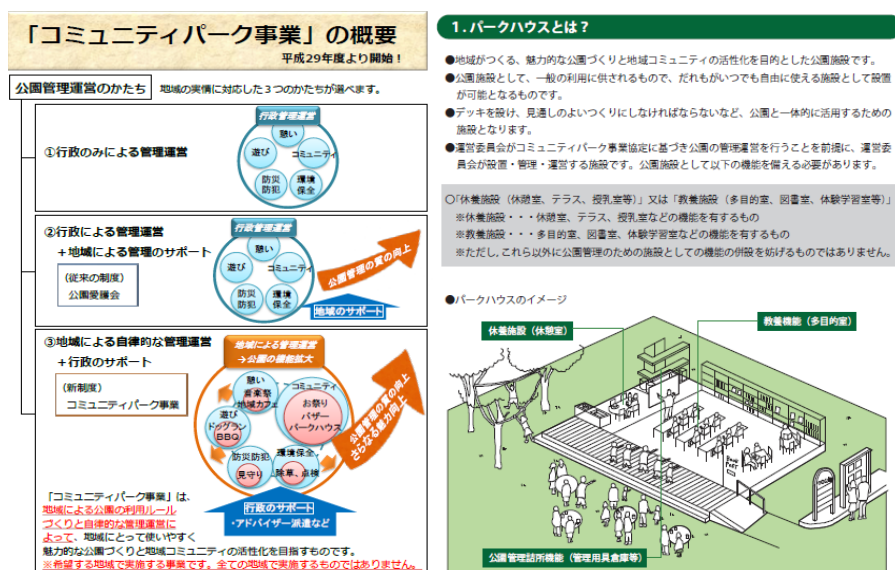


図9 コミュニティパーク事業の概要（福岡市「コミュニティパーク事業の概要及びび手引き」より）

(2) 富山県富山市「富岩運河環水公園」

「富岩運河環水公園」は、とやま都市 MIRAI 計画のシンボルゾーンとして、水辺空間の豊かさを大切にしながら整備される面積 9.8ha の親水文化公園である。富山の自然と富岩運河の歴史を活かした公園には、平成 20 年に日本で初めてスターバックスコーヒーが公園内店舗を出店し、世界中のスターバックスコーヒーの店舗の美しさを競うストアデザインコンテストで最優秀賞を獲得したことから、世界一美しいスターバックスコーヒーがある公園として親しまれている。



図 10 スターバックスコーヒー
富山環水公園店（スターバックス
コーヒーホームページより）

富山県及び富山市では、北陸新幹線の開業を見据え、富山駅周辺の魅力向上の一環として、富山駅北地区、また富岩運河と一体的なにぎわいの空間として活用するための方策を検討する「環水公園等にぎわいづくり会議」を設置し、魅力ある施設の導入やイベントの実施等、公園のにぎわいづくりのための様々なアイデアを官民連携によりまとめ、その成果としてスターバックスコーヒーの都市公園への全国初出店につながった。

また、店舗はガラス張りの窓に囲まれており、環水公園の象徴である運河が一望できるようになっており、街中にあるスターバックスコーヒーの店舗とは違った開放的なテラスもあり、景色を眺めながら穏やかな時間を過ごすことができる工夫がされている。春は桜、夏は新緑に花火大会、秋は紅葉、冬には雪景色といった、四季を五感で感じることができる空間は、多くの利用客でにぎわっている。

6. 課題解決に向けた提案

これまで整理した方向性と先進事例を踏まえ、公園管理の担い手の拡大と自然環境の保全による利用者の拡大を目指すべきだと考え、下記の提案を行う。

(1) 人材育成の実施と運営組織の立ち上げ

大池公園整備計画のコンセプトに設定した「大池八景」の実現に向けて、使い手・造り手・守り手の三者の協働による公園づくりが必要不可欠であるため、三者のつながりを強化すべきと考える。

現在、このコンセプトについては公園利用者にはほとんど認知されておらず、庁内でもあまり認識されていない状況にある。そのため、まずは「大池八景」及び整備計画についての情報発信を行い、公園そのものも含めた認知度向上を目指すべきである。その後、公園内でのイベント、ボランティア活動等への参加を呼びかけることで公園を訪れてもらい、日常利用へと展開していくことで、新規利用者の拡大、リピーター確保につながると考える。

また、協働による公園づくりを進めるため、新たな運営組織の立ち上げを検討する。まず、庁内では公園全体の管理や各施設の管理で所管が異なり、統一感のある運営体制が整って

いないため、各課横断による検討体制が行政に必要である。これと並行して、公園の管理運営に携わる主体が参加した運営組織を立ち上げ、コンセプトに沿った公園管理を進めることを目指す。

なお、運営組織には、人材育成を通じて公園を利用するようになった方々に参画いただき、利用者側から公園管理者側へ引き込むことを検討したい。これらの取り組みによって協働による公園づくりがこれまで以上に可能となり、担い手不足の解消を図る。

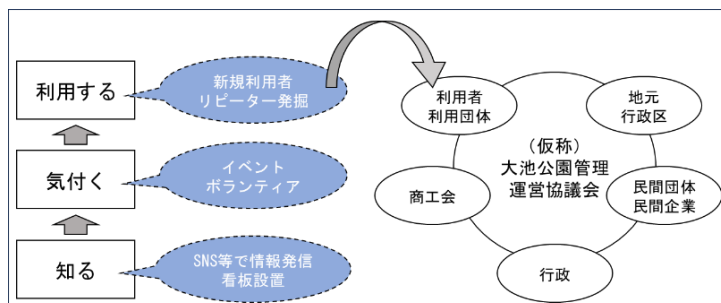


図 11 人材育成と運営組織のイメージ図（筆者作成）

(2) 自然環境の保全と公園のにぎわいづくり

大池公園では、令和 4 年度にキャンプ場でアカマツの木が根元から倒壊する事案が発生した。幸いなことに怪我人はいなかったが、利用者の安全を脅かす事案であり、自然環境の維持管理と安全管理の重要性を改めて認識した。大池公園については、行政による月 1 回の巡視点検と、公園管理者による週 3 回の日常点検を実施しているが、先述の事案が発生しており、19.40 ha の広さを限られた人員でどのように行うのかという課題がある。

このような中、当町では令和 5 年度より町公式 LINE に公園の異常を通報できる仕組みを導入しているが、LINE による通報がほとんど利用されていない状況である。

一つ目の提案では、新規利用者・リピーターを確保し、公園管理者側に引き込むことを想定していたが、ここまで積極的に関わってくれる人材は少ないと考える。そのため、公園管理組織への参画までは至らずとも、公園を週 1 回、月 1 回でも利用するようになった方については、LINE を用いた公園の巡視点検や、公園利用ニーズのモニター調査への協力を依頼したい。公園管理者の視点と利用者の視点による環境整備を進めることで、安全で魅力のある景観づくりが可能となり、魅力のある景観づくりの結果として公園の新規利用者・リピーターの拡大、にぎわい創出につながるものとする。

そして、協働による公園づくりで大池公園のにぎわいが創出できた後に、町民ニーズの高いカフェの設置を検討すべき段階になると考える。民間活力を活用したカフェ、キャンプ場の整備については、サウンディング型市場調査により出店可能性のある事業者を見極めることも必要な取り組みであるが、第 3 章で述べた青空カフェ利用者数集計を踏まえると、まずは「大池八景」の実現に向けた協働による公園づくりに優先して取り組むべきである。時間をかけて公園の価値を高めることが、富山市「富岩運河環水公園」の事例のように官民連携による一体的なエリア開発や、自然環境と調和のとれたカフェの出店の第一歩となると考えるので、前述の提案内容の実現を目指していきたい。

7. おわりに

公園管理については、行政資源の減少や施設の老朽化、管理者の担い手不足など、様々な課題が発生しており、全国各地で管理の在り方について検討がなされている。しかし、公園に求められる役割は地域ごと、公園ごとによって大きく異なるため、公園再整備の難しさを改めて感じた。

大池公園は当町の「開拓の歴史」から派生して整備された公園であり、町民の憩いと活動の場という役割だけではなく、観光資源、文化資源としても重要な位置づけをされている。先人たちの創り上げた豊かな自然環境、開拓精神を後世に残していくために、持続可能な公園づくりの手法を今後も検討し、実現できるよう取り組んでいきたい。

【参考文献】

- ・大池公園パンフレット
- ・矢吹町まちづくり総合計画の策定に関する住民アンケート
- ・大池公園整備計画
- ・都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活用ガイドライン（国土交通省ホームページ）
- ・都市公園法改正のポイント（国土交通省ホームページ）
- ・都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言参考資料【事例編】（国土交通省ホームページ）
- ・福岡市ホームページ「コミュニティパーク事業について」
- ・富岩運河環水公園ホームページ